

県（中播磨県民センター）の取組 （中播磨地域における主要課題の現状と取組）

基本方針

中播磨地域は、山間部の緑豊かな自然や播磨灘の豊富な海の幸など、魅力あふれる地域資源に恵まれている。世界文化遺産・姫路城や周辺施設には、国内からはもとより、多くの外国人観光客が訪れている。また「ひょうごゴールデンルート」の南北軸を担う「播但貫く、銀の馬車道 鉱石の道」が文化庁の日本遺産に認定され、ますます中播磨への来訪者の増加が期待される。

令和2年度は一年後に延期となった東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を見据えた準備期間として、これまで以上の国内外からの観光客の来訪を促進するため姫路城や銀の馬車道、播磨灘、優れたものづくり産業など、中播磨の魅力をより一層磨き上げ、中播磨から兵庫へ、さらには国内外へと発信するほか、播磨の中心にふさわしいまちづくり、産業基盤づくりを推進する。

また、子どもたちがふるさとを愛する心を醸成し、地域の人々が人の輪、地域の力を高めながら、安心して暮らせる地域づくりを図るとともに、「人口対策」「地域の元気づくり」を柱とする「地域創生戦略」も踏まえ、「人と地域がつながる“元気”な中播磨の創生」に向け取り組んでいく。

重点目標

I 思わず訪れたいくなる中はりま

外国人旅行者へのおもてなし強化や魅力的な広域観光ルートを発信するとともに、平成29年4月日本遺産に認定された「銀の馬車道 鉱石の道」を活用し、中播磨への更なる誘客促進を図る。

また、播磨灘の豊かな海の幸や農作物・酒など、様々な地域資源を活かし、食と地域の元気づくりに取り組むほか、農山漁村と都市との交流を図る。

II 若者・女性が活躍できる中はりま

若者の地元就職や女性の活躍できる地域づくりを目指し、中播磨地域夢会議への高校生・大学生等の参加を促進するほか、地域政策を検討する会議への若者の参画を推進する。

III 活気とにぎわいのある中はりま

播磨地域の中心である姫路の“顔づくり”として姫路駅周辺の整備を推進するとともに、ポートセールス活動等により姫路港から「播磨の元気」を創出する。

また、高速道路から生活道路にいたる道路網を整備するほか、農地の大区画化等のほ場整備や森林整備等、農林漁業生産基盤の整備を推進する。

IV 暮らしやすさ No.1 の中はりま

自然災害に対する安全・安心の確保、地域防災力の充実・強化等を図るとともに、高齢者、障害者等が安心して暮らせる地域づくりを推進する。

また、農業の活性化、野生鳥獣の被害対策等に取り組むほか、自然とのふれあいを通じた環境学習・環境保全を推進する。

主要施策

I—1 日本遺産「銀の馬車道・鉱石の道」推進プロジェクト

日本遺産「銀の馬車道・鉱石の道」ゆかりのフランス人シスレーなどフランスとの交流のストーリーを活かし、欧州からの交流人口増加を目指すとともに周辺の魅力を含めた地域のブランド化に取り組む。

(1) つなぐ銀の馬車道～轍プロジェクト～

世界遺産姫路城を訪れる外国人観光客が年々増加し、昨年度の入城者の4分の1を外国客が占めるほど世界の注目を集めている。令和2年度は、次年度開催予定の東京オリンピック・パラリンピックを見据え、フランスを中心とした欧州をターゲットに中播磨の魅力を発信するための準備を進める。

① 東京オリンピック・パラリンピックに伴う発信

姫路市で事前合宿を実施する東京オリンピック競技大会フランス柔道チームのサポーター等へのプロモーションの準備を行う。

② 「はりま姫路の酒」のブランド化を進め、フランスのシェフやバイヤー向けに試飲会・商談会等を行い、欧州での認知度向上、販路開拓・拡大を図る。

(2) 銀の馬車道ブランドの推進

銀鉱石をイメージした白いカボチャを「銀馬車かぼちゃ」としてブランド化し、沿線地域内外にプロモーションを展開する。

① 観光客に「銀馬車かぼちゃ」に親しんでもらえるよう、飲食店でのメニュー提供やスタンプラリー、ハロウィンイベントを実施する。

② テーマ曲「かぼちゃの街道」を用いたPRを行う。

(3) 「銀の馬車道・鉱石の道」の見える化と魅力発信

馬車模型の制作等によりストーリーの見える化の強化を図るとともにサイクルトレインや馬車の運行により、その魅力を発信する。

① 体感できる馬車模型を制作し、沿線に設置する。

② ヘリテージ(遺産)としての価値を高めるため、銀の馬車道に関する資料の収集、検証を実施し、史実を踏まえた映像化を検討する。

③ JR 播但線と連携し、沿線が育んできた歴史的背景や文化を発信・体感するサイクルトレインを実施する。

④ 馬車を運行するなど、銀の馬車道の理解を深めるとともに、地域外からの誘客を促進する。

(4) サイクリングモデルルート「銀の馬車道・鉱石の道周遊ルート」の整備

サイクルルートや休憩所、サイクルショップなどを記したマップを作成するとともに、距離標やルート案内標識、サイクルスタンド等を整備する。

I—2 訪れて巡りたくなる中はりま

世界最大の旅行サイトの「日本の城」ランキングで4年連続1位を獲得している姫路城の知名度を活用し、中播磨の豊かな観光資源への周遊と体験ツーリズムの活性化を図る。

(1) 思わず行きたくなる中はりま誘客推進

中播磨地域全体への周遊を図るとともに、滞在時間の延長を促し観光消費額増を図る。

- ① 旅行商品の造成や販売・広報に関わる旅行事業者を中播磨に案内し、地域ならではの観光素材についてのプレゼンテーション、ヒアリング調査を行うことにより地域資源の評価向上につなげる。
- ② 中播磨の宿泊客を増やすために、地域内で宿泊を伴うツアーを実施した旅行事業者に対し補助を行う。

(2) 播但線沿線等の魅力アップ

管内を縦に繋ぐJR播但線や播但連絡道路の利用促進を図り、地域の活性化と人口減少に歯止めをかける取組を行う。

- ① 地元住民の愛着と訪れる人への魅力アップを図るため、地元版画家や沿線高校美術部と連携し、版画や絵画を駅舎・列車内に掲示する。
- ② 銀の馬車道と連携したサイクルトレインを運行する(再掲)。

(3) 中はりま「気軽に農泊」モデル事業

増加しつつある外国人観光客等を視野に入れ、日本ならではの伝統的な生活体験や農村地域の人々との交流を促進するモデルとして「農泊」(農山漁村滞在型旅行)を提案し、中播磨北部地域の活性化を図る。

- ① 中はりま「気軽に農泊」研究会を開催する。
- ② 「気軽に農泊」受入れ主体への支援を行う(インバウンド対応に必要な整備など)。

I-3 豊かな資源を活かした食の魅力発信

豊かな自然や食文化など様々な地域資源を活かし、地域特産物のブランド化、魅力と活力のある地域づくりに取り組み、国内外にその魅力を発信することにより交流人口の拡大を図る。

(1) 食と農で結ぶ夢街道づくり

夢前川流域は、自然豊かな地域性を生かした農産物・畜産物などの生産が行われ、塩田温泉や雪彦山、置塩城跡などの観光資源もあることから、夢街道沿線(県道67号線)への交流人口の増大を図り、地域の活性化、農産物とその加工品の生産振興を図る。

- ① 夢前テロワールのPR
 - ア 夢前テロワール(夢前町の土壌、気候、地形、水など)と地元農家の優れた技術で生産された農産物等を全国の方々に味わっていただく取組を支援し、夢前川流域への誘客と地域の活性化を図る。
 - イ 昨年度復活させた酒米「辨慶」で醸造した酒を活用し、「夢前テロワール」をPRする。
- ② 農産物加工体験プログラムの開発
 - 夢街道周辺での農業体験の魅力アップのため、加工品づくり体験プログラムの開発を行い、観光客等の増加を図る。

(2) はりま姫路の前どれ海の幸グレードアップ作戦

中播磨や西播磨の水産物直売・飲食施設等に都市住民との交流拠点の機能を充実させ、特産品の開発と知名度向上、ブランド化の推進を図る。さらに、大規模商談会等のイベントを活用したプロモーションを推進し、広く播磨灘産海の幸の認知を定着させる。

- ① 水産物特産品の商品化、販売促進や魚食普及活動等を支援し、ひょうごの海の幸を代表するブランドづくりを図る。
- ② “播磨のかき、あさり”生産・需要拡大支援を図るため、漁業者が行う高品質化や自家採苗、中間育成の新技术開発支援、公共交通機関等を使った広報などを展開する。
- ③ 量販店との協働による対面販売、首都圏販売促進イベント出展、地元料理店やホテルとの新メニュー検討等により、前どれ海の幸の知名度向上、販路拡大、プロモーションを支援する。
- ④ イベントや漁業見学ツアー等を開催し、漁村地域への来訪者の増大を図る。

(3) 中はりま食文化の発信

「はりま姫路の酒」をはじめ、姫路おでんや菓子、海の幸など姫路・中播磨の多彩な食文化の魅力発信を図る。

「はりま姫路の酒」のブランド化を進め、フランスのシェフやバイヤー向けに試飲会・商談会等を行い、欧州での認知度向上、販路開拓・拡大を図る(再掲)。また、令和2年3月に酒類の地理的表示に指定された「G Iはりま」の国内外へのPRのため、ロゴマーク制作を支援する。

(4) 水産資源を守り育てる増殖場の整備

砂泥が広がり、漁場に恵まれていない播磨灘中西部海域において、鹿ノ瀬に匹敵する石材を用いた大規模な人工増殖場を造成し、水産資源の維持増大と漁業生産の安定化を図る。

II—1 若者・女性の就業・地域活動支援

中播磨地域では、20歳代は転出超過となるものの、30歳代では転入超過となる傾向がみられることから、進学・就職を機に域外へ転出した若者・女性をメインターゲットに、産官学が連携し、就業支援や地域活動の支援を行う。

(1) 中はりまの企業PR大作戦（UJIターン対策）

進学を機に県外に転出した若者が就職時に地元に戻れるよう、ものづくり産業を中心に優れた中小企業の魅力をPRすることにより、企業と人材のマッチングを図る。

- ① 県外在住者等を対象として、1泊2日の『暮らし』と『しごと』の魅力体験ツアーを開催する。
- ② 播磨地域就職支援サイト「JOB播磨」において、就職イベント情報や企業の魅力を紹介するミニコーナーの他、AI面接を紹介するなど、播磨地域での就職を促す記事を掲載する。
- ③ 県内外の理系大学を対象とした中播磨の企業見学バスツアーを実施する。
- ④ 中播磨出身者が多く在籍する県外大学において中播磨企業をPRする「魅力発見フェア」を開催する。
- ⑤ 姫路市と連携し、姫路市内に移住する従業員に住宅手当とは別に家賃補助を支給する中小企業に対して、家賃補助の一部を負担する。

(2) 産学官連携による「中はりま産業力」強化

企業の技術者と大学教員が情報交換・マッチングする機会を引き続き提供するとともに

に、大学研究室見学ツアーにより企業の技術ニーズと県立大学等の持つ技術シーズとのマッチングを促進する。マッチング事業について、大学生はもとより高校生の積極的な参加を促し、学生が管内企業を知る機会を提供する。

- ① 企業向け大学研究室見学ツアー（バーチャルツアー）を実施する。
- ② 中小企業若手技術者等を対象とした「ものづくり力向上セミナー」を開催する。

（3）中はりま木造インターンシップによる技術伝承支援事業

中播磨地域の「銀の馬車道」や旧街道沿いに多く残っている伝統的木造建築を再生できる技術者の不足と後継者育成が問題となっていることから、地域の大工、左官、瓦葺き技能者の職人組合や住民と協働して、建築を学ぶ若年層を対象とした伝統的木造建築技術を体験する機会を提供することにより、技術の維持・継承及び地域の活性化を目指す。

（4）女性の活躍を促進する企業セミナー

企業での女性活躍の促進を図るため、管内企業の経営者、人事担当者等を対象として、女性の管理職への登用促進に必要な環境作りや、女性の雇用に積極的な企業、女性管理職が活躍する企業などの事例を学ぶセミナーを開催する。

（5）生活創造活動支援

環境、消費生活、健康、福祉等様々な分野にわたり、県民一人ひとりが主体的にライフスタイルを創造し、真に豊かな社会を実現していくための生活創造活動や地域づくり活動を支援する。

- ① 生活創造応援隊（ボランティア9名）の協力を得て、生活創造関連情報を発信するとともに、生活創造活動グループの相互交流を進める。
- ② 生活創造活動グループや消費者団体等の活動発表・交流の場として、また消費者問題への関心を高める契機として、生活創造情報プラザを活用し、情報を発信する。

II-2 高校生・大学生等の参画

日本遺産「銀の馬車道・鉾石の道」沿線の高校生による地域を巻き込んだ新たなプロジェクトの提案など、高校生・大学生等の県施策への参画を促進する。

（1）日本遺産高校生フォーラム

地域資源を後世に伝えるとともに、高校生ならではのアイデアを観光施策に活かすため、沿線地域の高校生による地域魅力づくりワークショップとフォーラムを開催する。

（2）地域政策を検討する会議等への高校生・大学生等の参画

中播磨地域夢会議への高校生・大学生等の参加を促進するほか、地域政策を検討する会議への若者の参画を推進する。

（3）小学生への社会基盤整備PR事業

社会基盤施設に興味を持ち、理解を深めてもらうため、小学生を対象に絵画コンクールを実施。将来の土木技術者を目指すきっかけづくりとする。

III-1 姫路駅周辺の“顔づくり”の推進

（1）駅周辺の整備推進

姫路市文化コンベンションセンターが令和3年秋の供用、県立はりま姫路総合医療センター（仮称）が令和4年度の開院を目指して整備が進められていることから、引き続

き「姫路市都心部まちづくり構想（H18.3策定）」の推進に協力し、播磨地域の中心である姫路駅周辺整備を図る。

（２）駅周辺道路等の整備推進

駅周辺の施設整備に合わせ、道路等の整備を推進する。

- ①（都）国道線〔姫路東工区〕（姫路市東郷町～神屋町）L=0.96km〔2014（H26）～21（R3（R7まで延伸予定））〕について、西側より用地買収を推進するとともに、一部工事に着手する。
- ② 国道312号姫路天神前交差点について、北行き1車線を2車線に拡幅する交差点改良を推進する。
- ③ 姫路市施行の南北道路（内環状東線）の物件移転及び工事の促進を図る。

Ⅲ－２ 姫路港の賑わいづくりと利活用

昨年、開港60周年を機に入港したクルーズ客船を今後も姫路港に迎え、新たな賑わいを創出するため、クルーズ客船の誘致活動をさらに強化する。また、旅客ターミナルエリアのリニューアル等の推進により、県民の交流や賑わい空間を創出することで地域の活性化を図る。

（１）観光クルーズ客船の誘致強化

入港するクルーズ客船に効果的なおもてなしを提供することにより、再度の入港をアピールするほか、海外船社へのポートセールス活動、海外でのクルーズ船社見本市への参加などにより誘致活動の強化を図る。また、クルーズセミナーの開催、客船寄港時のおもてなし活動に協力するクルーズ・サポーター制度創設により潜在的なクルーズ需用の掘り起こしや普及活動を実施する。

（２）背後圏企業へのポートセールス活動の展開

姫路港背後圏の荷主企業等に対するポートセールス活動を行い、内航船へのモーダルシフトなど姫路港の利用を積極的に働きかける。

また、ポートセールス活動を通じて、昨年10月に開設された、姫路港と神戸港を結ぶコンテナ貨物の内航フィーダー航路の定着を図る。

（３）姫路港旅客ターミナルエリアリニューアル

旅客船利用者の利便性・快適性の向上を図るため、「姫路港旅客ターミナルエリアリニューアル基本計画」に基づき、旅客ターミナル機能の集約や貨物と旅客の効率的な配置など再編整備事業を推進する。

（４）姫路港・海の魅力発信

姫路港の重要性や海の魅力を発信し、新たにターミナルエリアのリニューアルなど身近な港としてPRするため「銀の馬車道・鉱石の道」から姫路港を經由し直島に運ばれた生野銀山の鉱石ルートを船で迎えるツアーを実施する。

Ⅲ－３ 中播磨地域の元気、活力を支える道路網の整備

中播磨地域の元気、活力を支えるため、高速道路から生活道路にいたる道路網について、利活用の増進や中心市街地の形成などに重点を置きつつ、選択と集中により、効率的・効果的な整備を進める。

(1) 播磨臨海地域道路

平成 28 年 5 月 9 日の近畿地方小委員会において、「当面、都市計画・アセスを進める区間（第二神明～広畑）」、3 箇所の整備の「優先区間」が決定し、「当面、都市計画・アセスを進める区間」について、国が概略ルート・構造の検討を進めてきた。令和 2 年 6 月 29 日の近畿地方小委員会において、対応方針(案)として「内陸・加古川ルート（約 36km）」が選定された。今後、国による対応方針の決定を経て、都市計画・環境アセスメントに着手予定である。

県としては、早期事業化に向け、国に対応方針の早期決定を促すとともに、国の詳細ルート・構造の検討が円滑に進むよう、沿線市町とともに、国の調査へ協力するとともに、早期完成に向け、事業主体の役割分担や有料道路事業の導入検討などについても、引き続き国へ要望していく。

(2) 播磨の中心市街地（姫路市）の骨格道路網形成

姫路市流出入交通の集約・分散化を図るための骨格となる放射環状道路のうち、国道 372 号などの放射道路や県道広畑青山線のバイパスなどの環状道路の整備を推進する。

Ⅲ—4 はりまのものづくりを強化するための支援

中播磨地域に集積する産学官に係る資源の効果的な連携を図り、大学、企業との技術交流の促進により、地域のものづくり力の一層の強化を図る。また、ものづくりを支える人材を確保するため、企業の情報を広く発信するとともに、企業と学生のマッチングを図る機会を充実させる。

(1) ものづくりを支える人材確保支援

ものづくり企業の人材確保を支援するため、高等学校進路担当者と企業との交流会を開催し、若者等の中播磨定着を促進する。

(2) 中はりまの企業PR大作戦（UJIターン対策）【再掲】

(3) 産学官連携による「中はりま産業力」強化【再掲】

Ⅲ—5 農林水産業の生産振興

過疎・高齢化や耕作放棄地の拡大が懸念される中播磨北部地域における新規就農者サポート、収入安定化のための事業を展開するとともに、農地の面的集積とほ場の大区画化を一体的に進めるほ場整備を推進し、農業水利施設の機能が適正かつ持続的に発揮されるよう点検整備や補修に取り組むほか、防災対策として老朽化したため池等を改修する。

(1) 中はりま がんばる「農」地域サポート事業

過疎・高齢化や耕作放棄地の拡大が懸念される中播磨北部地域では、様々な要因で十分な農業所得を上げられていない。近接する市街地等の消費者の参画によるCSA（※地域支援型農業）の取組を行い、条件不利地域における地域創生のモデルとする。

① 中播磨CSA研究会により、取り組み希望農家向けの研修会の開催や、情報発信による生産者と消費者の結びつきを支援する。

② CSAスタートアップ支援

ア CSAに対応した野菜等の少量多品目生産に必要な小型予冷库やコンテナなどの資材等を支援する。

イ 市街地等における農産物分配所（ピックアップポイント）の設置を支援する。

ウ 参加消費者の確保に向けたPRや、交流会を開催する。

（2）中はりま農業パワーアップ作戦

農業の新たな担い手確保、土地利用型農業における収益力の向上、地域特産物の生産振興と魅力発信による新たなブランド商品の育成等を進め、中播磨農業のパワーアップを図る。

① 新規就農者確保のための「中播磨就農希望者セミナー・相談会」の開催や、新規就農者の早期経営安定のための機械導入を支援する。

② 高収益作物である小豆の生産振興のための生産技術を実証する。

③ 新品種のもち麦を活用した新たな需要開拓による産地強化を推進する。

④ 「メイドイン中播磨」農畜産物の商品開発、販売、試食会等を開催する。

（3）人とシカが共生できる地域創出事業

有害鳥獣の捕獲を担う狩猟者の高齢化が進んでいるため、被害対策の担い手確保・人材育成に取り組む。また、シカ肉の有効活用を図るため、シカ肉加工製品の普及啓発による消費拡大を推進する。

① 狩猟免許取得後3年以内の狩猟未経験者に対して銃器・わな捕獲の実践的スキル習得のための狩猟体験会を開催する。

② 防護柵等施設機能の向上に係る資材費等を支援する。

③ シカ肉加工製品消費拡大を推進するため、各種イベントへの出展を支援する。

（4）農業生産基盤の整備

農業の競争力強化に向け、未整備地域のほ場整備を推進するとともに、ほ場整備済みの地域では、農作業の効率化のための大区画化を進めている。また、頻発するゲリラ豪雨や南海トラフ等の大規模地震に備え、ため池等農業水利施設や農地の防災・減災対策を推進する。

（5）持続可能な森林経営に向けた森づくり

成熟した人工林資源を有効に活用し、持続可能な森林経営を構築するため、林内路網の整備や高性能林業機械の導入など林業生産基盤の整備を推進するとともに、適切な森林の整備を推進する。

また、新ひょうごの森づくりによる人工林の間伐及び作業道開設等を支援する。

IV—1 ふるさと意識、地域への愛着醸成

地域文化や郷土史等を次代に伝える事業を実施・支援するなど、子どもや若者のふるさと意識や地域への愛着の醸成に取り組むとともに、独身男女の出会いを支援する。

（1）中播磨地域ビジョンの推進

中播磨地域ビジョンの実現を図るため、第10期ビジョン委員会の実践活動の支援を通じて、より幅広く県民と地域ビジョンを共有する取組を推進する。

また、2050年を展望する新地域ビジョンの策定（2022年3月予定）に向け、様々な形で県民との意見交換（ビジョンを語る会、地域デザイン会議、未来フォーラム等）を行うとともに、中播磨新地域ビジョン検討委員会において新地域ビジョンの検討を進める。

（2）中播磨地域づくり活動応援事業

地域団体等が実施する地域の課題解決につながる取組や団体自らの活性化のために行う取組（県民提案型協働事業）を支援することにより、地域の元気づくりを図る。

《特別枠》

ア 「銀の馬車道」魅力UP事業

中播磨のシンボルである「銀の馬車道」を題材に、地域団体等が実施する取組や地域の活性化に繋がるイベント等に対して助成を行い、地域の元気づくりを図る。

イ 地域文化継承応援事業

地域団体等が行う中播磨の伝統文化や郷土史、食文化など「地域の文化」を青少年を中心に伝える事業に対して助成を行い、地域への誇りと愛着を育む。

（3）伝統文化を通じた青少年の文化力アップ

姫路・中播磨地域はもとより、県内各地の青少年も対象に日本の伝統文化の継承・発展・普及に寄与する事業を展開し、伝統文化を通して地域の若者の「ふるさと意識」の醸成を図る。

- ① 姫路城周辺施設（好古園）において青少年等により、歌舞伎舞踊定期公演を実施する。
- ② 青少年伝統文化セミナー・成果発表会を開催する。
- ③ 「生活に即した伝統文化の学び」等の講座を実施する。
- ④ 伝統文化リーダー・スタッフの養成を行う。
- ⑤ 国際交流と異文化理解を図るため、留学支援講座や和のゲストハウス事業等を開催する。

（4）環境学習の推進

環境やいのちを大切に思う心を育み、学習から実践へとつなげていくため、青少年向けの体験型学習事業等を実施するなど、地域の自然の中での豊かな体験を通して、ふるさと意識の醸成を図る。

（5）青少年の健全育成活動の推進

こころ豊かな人づくり 500人委員育成事業（青少年サポートセミナー）や中播磨青少年本部自主事業の展開により、青少年を取り巻く良好な環境作りやふるさと意識の醸成を推進し、青少年の健全な育成を図る。また、列車通学生徒の乗車マナーの向上を目的とした啓発や、列車内や駅周辺を中心とした指導等を通じて、非行のきっかけとなる行為の未然防止に努める。

（6）中はりま縁結び交流会の開催

独身男女の出会いを支援するため、知事から委嘱を受けた「こうのとり大使」とともに、1対1のお話タイムやクイズなどを行いながら、縁結び交流会を開催する。

IV—2 まちの安全・安心の推進

自然災害から安全・安心を確保するため、治水・高潮・土砂対策等にかかる基盤整備や、利便性・安全性を高める道路整備を推進するとともに、地域防災力の向上を図る。

(1) 災害に強い社会基盤整備の推進

自然災害に対する安全・安心を確保するため、治水対策、地震対策及び土砂災害対策を進める。

① 治水対策の推進

ア 市川の河川改修

砥堀工区の河道改修計画に基づき、平成 30 年 3 月から河床掘削工事に着手。引き続き、河床掘削工事及び護岸整備工事等を進める。

イ 八家川の洪水調節池整備

流域の浸水被害を早期かつ広範囲に軽減するため、高潮対策(八家川排水機場(H29.5完)、防潮水門(H26.9完)及び高潮堤防嵩上げ(H28完)に加え、中上流部(姫路バイパス下流)において洪水調節池の整備を進める。

ウ 総合治水の推進

平成 30 年 3 月に改訂した「中播磨地域総合治水推進計画」に基づき、従来からの河川下水道対策に加え、河川等への雨水流出を抑制する「流域対策」、浸水時の被害を軽減する「減災対策」を組み合わせた「総合治水」を県・市町・県民の連携のもと推進する。

エ 「河川対策アクションプログラム」の策定

平成 30 年 7 月豪雨や令和元年東日本台風など、豪雨が激甚化・頻発化していることを踏まえ、今年度、全県下の県管理河川を対象にした「河川対策アクションプログラム」[R2～R10]の策定を予定している。

「河川対策アクションプラン」は「中播磨地域総合治水推進計画」に位置づけた上で、事前防災対策を重点的に推進する。

オ 排水ポンプ車の配備

県内の土木事務所としては第 1 号となる排水ポンプ車を配備し、(一)蟠洞川をはじめとする河川の浸水被害に備える。

② 地震対策の推進

「ひょうご道路防災推進 10 箇年計画」[2019(H31)～28(R10)]に基づき、緊急輸送道路上の橋梁の耐震補強等を進める。

③ 高潮対策の推進

大阪湾沿岸で既往最大潮位を記録した平成 30 年の台風第 21 号の教訓を踏まえ、全県下の県管理海岸・河川を対象に令和 2 年度に策定した「兵庫県高潮対策 10 箇年計画」[R1～R10]に基づき、防潮堤や河川堤防の嵩上げなどを進める。

④ 土砂災害対策の推進

土砂災害から人命を守ることを目的に策定した「第 3 次 山地防災・土砂災害対策計画」[2018(H30)～23(R5)]に基づき、土砂災害対策を推進する。

なお、市町の警戒避難体制整備の支援のため、土砂災害防止法に基づき平成 18 年度から実施してきた土砂災害警戒区域(Y区域)の指定については、概ね完了した。土砂災害特別警戒区域(R区域)については、平成 26 年度から基礎調査を実施し、平成 27 年度から順次指定を進め、令和 2 年度までの指定完了を目指す。

ア 土砂災害対策の推進

砂防えん堤及び急傾斜地崩壊対策を実施する。

イ 土砂災害防止法にかかる指定

引き続き、姫路市(旧姫路市、旧安富町)、神河町、市川町で土砂災害特別警戒区

域の指定を進める。

ウ 流木・土砂流出防止対策

風倒木跡地などの荒廃林地からの流木・土砂対策を実施する。

・ 治山ダム：神河町ほか4箇所を整備を推進

エ 災害に強い森づくり（県民緑税事業）の推進

平成28年度から5年間延長された県民緑税（第3期対策）を活用し、「緊急防災林整備」、「里山防災林整備」、「針葉樹林と広葉樹林の混交整備」、「野生動物共生林整備」、「住民参画型森林整備」などの事業メニューにより、森林の防災面での機能強化を早期・確実に進める。

⑤ 老朽施設の適正な維持管理

「ひょうごインフラ・メンテナンス10箇年計画」〔(2019(H31)～28(R10))〕に基づき、計画的・効率的に社会基盤施設の老朽化対策を推進する。

(2) 中はりま地域防災力の充実・強化

「ひょうご安全の日」前後の「中播磨地域防災講習会」の開催やフェニックス共済制度の加入促進といった取組を通して、地域住民の防災・減災意識の向上を図るとともに、地域防災の担い手である「ひょうご防災リーダー」の地域における継続的な活動を支援するため、「フォローアップ研修」を実施する。

(3) 歩行者・自転車の安全性を高める道路整備

① 通学路等の安全対策の推進

「通学路安全対策5箇年計画」〔(2019(H31)～23(R5))〕に基づく通学路や大津園児死傷事故(R1)を受け実施した緊急安全点検による園児移動経路の安全対策を推進する。

② 自転車通行空間整備の推進

「自転車通行空間整備5箇年計画」〔(2019(H31)～23(R5))〕に基づき、自転車レーンや路肩のカラー舗装等による視覚的分離により安全対策を計画的に推進し、安全で快適な自転車通行空間を確保する。

(4) ストックの利便性を高める道路整備

① 渋滞交差点の解消・緩和

「渋滞交差点解消プログラム」〔(2019(H31)～23(R5))〕に基づき、交差点改良（右折レーン設置）等を行い、計画的かつ重点的に渋滞交差点の対策を進める。

② 問題踏切の解消

「踏切すっきり安心プラン」〔(2019(H31)～23(R5))〕に基づき、問題踏切において、立体交差化や踏切部の歩道拡幅などの対策を計画的に推進する。

(5) 地方部の道路整備の推進

地域間交流や生活の基盤となる道路の重点的な整備を進める。

(6) ため池保全の推進

地域ぐるみでため池を貴重な財産として守り、活かし、伝えていくため、将来の担い手である子供たちにため池の役割や危険周知などを学習する「ため池教室」を開催する。

IV—3 暮らしの安全・安心の推進

災害時の医療情報や消費生活など幼児・高齢者等も含めた、暮らすひとの安全・安心を確保する地域づくりを目指す。

(1) 小児救急医療・適切な受診行動の促進

中播磨地域の一次救急を担う姫路市休日・夜間急病センターの小児科は、医師数の減少等診療体制の維持が課題となっているため、小児救急医療検討会を開催するほか、地域住民に地域医療に関する理解を深めてもらい、病状に応じた適切な受診行動を促し、コンビニ受診を抑制することを目的に啓発媒体を作成・配布し、救急医療体制の維持を図る。

(2) 地域包括ケアシステムの構築支援

医療や介護などの地域資源が偏在する神崎郡3町は、町単独で地域包括ケアシステムを構築するのが難しい状況にある。このため、連携してシステム構築に向けた取組を進めていくことができるよう、圏域の地域包括ケア推進会議の開催や、市町や医療関係団体等との連携調整等を行うことにより、郡内・圏域全体を見渡した広域連携システムの構築を支援する。

(3) 地域を支える看護人材の確保

地域医療を支える看護人材確保を目指し、兵庫県看護協会、西播民間病院協会、ハローワーク等との連携の下、中・西播磨管内の病院が一堂に会してそれぞれの魅力を伝えるため令和3年1月17日に開催される「看護職合同就職説明会」を支援する。

(4) 授産品の販路拡大支援

管内の障害福祉サービス事業所で生産する授産品のコンクール「中播磨“はばたけ授産品コンクール2020”」を10月21日に開催し、優秀作品を選定した。今後、選定された授産品を中心に県主催イベント等で配付する。また、管内の障害福祉サービス事業所と授産品紹介冊子を作成するとともに、ホームページ等を通じた県民へのPRや、道の駅等に授産品の販売依頼を行うなど、授産品の販路拡大を支援することにより、障害者の社会参加の促進、工賃向上を目指す。

(5) 高齢者の低栄養・フレイル対策

高齢者は、要介護状態になるまでに、フレイル（虚弱）状態を経ることが多いが、運動、栄養改善などに取り組むことで、その予防が期待できる。このため、低栄養・フレイルについて関係者や住民に幅広く周知するとともに、各町の低栄養対策を支援する。また、医療・施設・在宅での一貫した栄養指導が行える連携ツールを作成する。

(6) 災害時における医療提供に関する情報伝達訓練・研修事業

近年の地震、台風、豪雨等災害の多発により医療機関の迅速な受け入れ体制の確保が急務となっている。地域保健医療情報センター（圏域健康福祉事務所）として、災害医療に携わる関係機関・団体により、災害医療の基礎及び災害発生時の医療機関の患者受け入れ等に関する情報伝達方法について、知識や技術の習得を図るための訓練及び研修を実施し、実際に災害発生時に迅速かつ適切な対応が行える体制を構築する。

(7) 安全安心な消費生活の推進

消費生活トラブルの未然防止・拡大防止を図るとともに、消費者が消費生活に関する知識を持ち、適切な行動がとれる実践的な能力を身につけるための消費者学習を推進する。

また、2022年度から成年年齢が18歳に引き下げられることから、若年層への消費者教育の強化を図る。

(8) 地域ぐるみの安全対策事業

安全安心な地域社会の実現に向け、住民の主体的な活動への支援や参画と協働による地域ぐるみの安全対策を展開する。

- ① まちづくり防犯グループの活動を充実し、犯罪の未然防止機能の向上を図るため、地域安全まちづくり推進員の委嘱を行い、住民主体の防犯活動の活性化を図る
- ② 「ストップ・ザ・交通事故」県民運動中播磨推進協議会（県民局、市町、警察署、交通安全協会等38団体で構成）を設置し、年4回の交通安全運動期間を中心に、交通安全街頭キャンペーンやシートベルト・チャイルドシート着用啓発活動を展開するなど、交通事故防止対策を推進する。

(9) 野生動物の被害対策の推進

野生動物による農林業被害が深刻化、広域化しているため、捕獲による個体数管理、防護柵設置、生息環境改善などの総合的な取り組みを進める。

- ① シカ、イノシシ対策
 - ア 防護柵の設置の推進【設置計画：8,000m】
 - イ 狩猟期シカ捕獲拡大事業、シカ有害捕獲促進支援事業、シカ有害捕獲専任班支援事業等によるシカ捕獲の推進【捕獲目標：3,500頭】
 - ウ シカ肉処理加工施設等によるシカ肉有効活用
- ② サル対策
 - ア サル出没対策事業による捕獲【捕獲目標：30頭】
 - イ サル監視員配置支援事業によるサル監視員の設置
- ③ その他
 - ア 特定外来生物対策
 - アライグマやヌートリアについて、市町防除実施計画に基づき捕獲を推進する。
 - イ 野生動物共生林の整備
 - 「人と野生動物の棲み分けゾーン」を設置するため野生動物共生林を整備し、農産物等の被害を軽減する。

資料配布				
月／日 (曜日)	担当課 係 名	電話 (内線)	発表者名 (担当係長名)	配布機関
10/27 (火)	中播磨県民センター 中播磨健康福祉事務所 生活福祉課	(079) 281-9215	福祉室長 斎藤 信広 (生活福祉課長 野村 武志)	中播磨定例記者 懇談会メンバー

中播磨“はばたけ授産品コンクール2020”の開催結果について

中播磨県民センター管内の障害福祉サービス事業所が生産する授産品のコンクールを開催し、食品部門、手工芸品部門ごとに優秀作品（金賞・銀賞・審査員奨励賞各1点）を選定しました。

今回受賞した製品をはじめ、管内で生産される授産品については、県や市町主催イベントで配付するとともに、関係団体と連携してPRや購入促進を図るなど、その販路拡大を支援していくことにより、障害者の社会参加の促進、工賃向上を目指していきます。

〔受賞作品〕

(1) 食品部門

(金賞) 銀馬車かぼちゃのカップケーキ (みんなの家：姫路市)

— 銀の馬車道 知らないでは済まされない —

日本遺産に認定された「銀の馬車道・鉱石の道」。その「銀の馬車道」のシンボルである「銀馬車かぼちゃ」を使用した自然でやさしい甘さのカップケーキ。カップケーキを通して、世界に銀の馬車道を発信していきたいです。



(銀賞) 夢の馬車道 (若葉福祉作業所：姫路市)

— 福を呼ぶ和菓子～金運・財運UP～ —

近代化へ向け、夢と希望、野心を胸に多くの人が行き交った銀の馬車道。金運・財運をもたらす福食「金団」を「銀馬車かぼちゃ」で茶巾絞りにしました。南瓜と砂糖のみのシンプルな金団の中心に、甘辛いみたらし風味の角切り南瓜を「心」として据え、未来へ向けた思いを表現しました。



(審査員奨励賞) 銀馬車クッキー (ゆうかり作業所：市川町)

(2) 手工芸品部門

(金賞) 珈琲染雑貨 (なのはな : 姫路市)

ー珈琲染で癒しをー

珈琲で染めてみるとレトロで深みのある色になります。きっと誰もが魅了されるはず。全く同じ色の物はありません。あなただけの癒しカラーを見つけてみませんか？



(銀賞) ひめじ名物手ぬぐい (みんなの家 : 姫路市)

ー見て、使って、飾ってたのしい！ー

姫路城に姫路おでん、アーモンドトーストに、はたまたヤンキーまで！？みんなに紹介したくなる姫路の名物をぎゅっと集めたお土産にもぴったりの楽しい手ぬぐいです。描き手の個性あふれる楽しい絵柄にもご注目ください！！



(審査員奨励賞) 不思議なうちわ^{あるふあ} α (サンキャッチャー : 姫路市)

[コンクールの概要]

- 開催日 令和2年10月21日 (水)
- 開催場所 じばさんびる
- 出品点数 食品部門 8事業所 9製品
手工芸品部門 5事業所 6製品
- 審査 事業所からの製品説明の後、質疑応答を経て優秀作品を決定。
- 審査員 ◎(株)大陸代表取締役社長 岡本 一
○プリズムデザインラボ代表 畠 健太郎
姫路商工会議所中小企業相談所産業政策担当 浅井 千佳
中播磨地区商工会連絡協議会事務局長 鎌谷 和弘
NPO法人兵庫セルフセンター事務局長 脇原 隆司
(社福)姫路市社会福祉協議会常務理事 山口 兼弘
(社福)神河町社会福祉協議会事務局長 難波 義博
兵庫県中播磨県民センター副センター長 大久保 和代

◎は食品部門審査委員長、○は手工芸品部門審査委員長

姫路

■姫路本社
〒670-0964
姫路市豊永町 78

TEL:079-281-1125
FAX:079-281-9277
e-mail
himeji@kobe-np.co.jp

TEL:079-281-1124

TEL:079-281-1122

■神崎支店
TEL:0790-22-0045
FAX:0790-22-6659
火事や事故の速報、写真、映像提供、身近な話題へご連絡ください

きょうの天気

姫路	神戸
☀️ 午前 16	☀️ 午前 16
☁️ 午後 9	☁️ 午後 9
☁️ 夜 16	☁️ 夜 16
☁️ 気温	☁️ 気温

○数字は降水確率
のち
→ 一時々
// 一時々

素肌乾燥(11日)

油断大敵
油断大敵
油断大敵

神戶 (日本気象協会)

株式会社 アップ・シーア
〒670-0964 姫路市豊永町 日本ビルヂング社
TEL:079(281)1124
FAX:079(281)1122
姫路本社 姫路駅前部 本庁 三つ葉ビル

・224・1180
15、みんなの家079
1-079・281・922
どこに活用される。回セマ
た大玉が蔵の軒先につるさ
れ、杜氏が良質な酒の仕上
がりと期間中の安全を願っ
た。

型事業所「みんなの家」(姫路市丸尾町)が食品部門の約30人の施設利用者が描いた絵や文字を染め抜いた「金賞」を授賞した。利用者をダブル受賞した。利用者を「ズキ」なども姫路名物に「勝利」と喜びを分かち合う。加え、面白い一品に仕上げている。

授産品の認知度向上や販路拡大を目指し、中播磨県「自由な発想の詰まったみん家の家」が2014年から開催。今年は食品部門にきた。生産性はかき求める時代だが、ここでは誰一人部門にも事業所から品を出し切り捨てない。皆が輝き、働く喜びを共感している施設のことを知ってほしい。

たのは「銀馬車かぼちやのカップケーキ(20円)」。食品部門の金賞に輝いたのは「銀馬車かぼちやの銀の馬車道沿いで栽培される日いかぼちやを使い、鋳石を模したホワイトチョコレート」の金賞は「珈琲雑貨」部門の金賞は「珈琲雑貨」を練り込んだ。手工芸品部門の銀賞「ひめじ名産品コンクール」で、多機能書庫福祉施設で作る商品を対象にした「はばだけ授産品コンクール」で、



「みんなの家」金と銀

姫路市と神崎郡3町の障
がりがりとの間に、今年
は「甘辛や濃さのハ
が良く、きれいな新酒
だ」と自信を見せる。
ヤエガキ酒造の新酒
りたて「にじり酒」
下旬から順次出荷が
同酒造079・281・080

新酒シーズンは到来

ヤエガキ酒造 酒林飾り付け

新酒シーズンの訪れを告げる、前村氏の田中樽が完成させた。
杜氏の佐藤直樹さんによると、今年は暖かいので、今年も例年よりも甘辛や濃さのハが良く、きれいな新酒だ」と自信を見せる。
ヤエガキ酒造の新酒りたて「にじり酒」下旬から順次出荷が始まる。ヤエガキ酒造の酒林は直徑約80センチ、重さ約60キロと大



蔵の軒先につるされた「酒林」。今季の酒造りが一段落する来年4月ごろ飾られる「ヤエガキ酒造

大会の実施を見合わせる。
インドネシア出身の杜氏が
技能実習生を激励
が案内役を担い、製造フ

2019年度 看護職 合同就職 説明会

参加費無料

申込不要

一時保育

1歳以上の就学前のお子さんを
無料で預かりします。

日時

2019年
5月18日 土
12:00~16:00

場所

イーグレひめじ3階
あいめっせホール

〒670-0012 姫路市本町68番地290
JR姫路駅から北へ600m

in
西播

イベントの内容



病院説明ブース

参加病院 最大 33病院 12:00~16:00



東京アカデミーによる看護師国家試験対策セミナー

講義テーマ「第1部:看護師国家試験の出題傾向」 11:00~12:00
「第2部:第109回試験に向けた学習方法」 15:00~16:00



ハローワーク姫路、兵庫県ナースセンター相談コーナー 12:00~16:00

イベントのメリット

- 病院で働いている看護師から直接話が聞ける
- 先輩たちにキャリアアップについて気軽に相談できる
- 東京アカデミーによる看護師国家試験対策セミナーに参加できる
- 復職支援のための相談や研修情報が得られる
- シールラリーでプレゼントを進呈



対象者

- ✓ **潜在看護職**
 - ・看護師
 - ・保健師
 - ・助産師
 - ・准看護師
- ✓ **看護学生**



公益社団法人兵庫県看護協会
兵庫県ナースセンター

兵庫県看護協会 西播支部 Tel. **079-293-3131** (内線5141)
担当:大下(兵庫県立姫路循環器病センター)

兵庫県ナースセンター Tel. **078-341-0240**



詳細については
ホームページをご覧ください。
<https://www.hna.or.jp/>
兵庫県看護協会:facebook・twitterも
見てね。



主催 公益社団法人兵庫県看護協会西播支部、兵庫県看護協会
共催 西播民間病院協会、姫路市、
兵庫県(中播磨県民センター、西播磨県民局)、
兵庫労働局、ハローワーク姫路